

げんざい ばいうぜんせん というのが にほんれつとうふきん ぜんせん ちか あめ ふら ぐも
現在、梅雨前線というのが日本列島付近にあります。前線の近くには雨を降らす雲が
るので、これがながあめ げんいん
るので、これが長雨の原因になっています。

ぜんせん せいしつ こと くうき かた
前線は性質の異なる空気の固まりがぶつかる
ところ
(境目) にできます。今は日本の北側にある冷たくて湿
った空気と日本の南側にある暖かくて湿った空気が
にほん うえ お じょうたい たが
日本の上で押しくらまんじゅうをしている状態で、お互
いの押す力が同じ大きさなのでずーっと動かず、次から
つぎ ぐもをつくって、あめをずーっとふらせるわけです。



しかし、もう少し経つと、日本の南側にある暖かく
しめ くうき お ちから つよ
て湿った空気の押す力が強くなります。そうするとぜんせん いち きた いどう にほんれつとう
から遠ざかると「梅雨明け」となり、本格的な夏になります。しかし、あたたか 湿った 空気
が日本列島を覆うため、日本の夏は大変蒸し暑くなるわけです。

げんざい あつ でんげん い かいてき かんきょう むかし
現在は、暑くなったらエアコンの電源を入れ、快適な環境にすることができますが、昔
はエアコンなどありませんから、少しでも涼しくなるように、家中の窓や扉を開けて、風
を通すようにしました。風が通ると体感暖度が3℃ぐらい下がると言われています。また、
なつ よわ みなみかぜ ふ みなみ のきした まどご ふうりん つ さ かげ ふら とき
夏は弱い南風が吹きますから、南の軒下や窓越しに風鈴を吊り下げ、風が吹いた時の「チ
リン チリン」というあの音で「涼」を感じました。

(これは、そよ風⇒ふうりんが鳴る⇒すずしい という日本人のみの条件反射によるものだそ
うです。ねんぱい すず かん
うです。年配ほど涼しく感じやすいみたいです。)

すず あ う みす
涼しくするためのエコな方法としてよくニュースなどで取り上げられるのは、「打ち水」
です。これは水が蒸発するとき周りに熱を奪うという性質を科学的に利用したもので、
どうろ かべ やね みす う ねつ うば おんど さ
道路や壁、屋根に水を打つことで、熱を奪い温度を下げています。「風鈴」「打ち水」はどち
らも暑い夏を少しでも涼しく過ごすための日本人の知恵といえます。

つちかべ つく いえ ざいらいこうほう にほんかおく しんげんざい つく いえ ちが なつ いえ なか
土壁で作った家(在来工法の日本家屋)は、新建材で作った家と違って、夏でも家の中の
おんど
温度があまり上がらずひんやりしています。土が熱や湿気を吸ったり、吐いたりする性質を
うまく利用したものです。これも日本人の知恵ですね。

はなし もど
話を戻しますが・・・

にほん なんとがわ たいへいよう かいすいおん へいねん すこ たか ことし つゆ あ おそ
日本の南東側の太平洋の海水温が、平年より少し高いようなので、今年の梅雨明けは遅い
かもしれません。ここの海水温が低い方が、ぜんせん お あ ちから つよ
ので、校長先生は遅れると予想しましたが、さて、どうなるでしょうか。